

各種がん検診を受ける方へ

受診前に必ずお読みください

- ・「予約確認通知書」の日時をご確認の上、当日は受付時間内に保健センターにお越しください。
- ・予約日時や受診項目の変更は、事前に保健センターまでご連絡ください。
- ・各種問診票の記入をお願いいたします。
- ・届いた問診票等の氏名・住所に変更がある場合は、お申し出ください。

胃がん検診

【検査方法】問診、バリウムを飲んで胃部エックス線撮影

- ①前日の飲食は夜10時までに終了し、検診当日は検査まで飲んだり食べたりしないでください。
※健診当日は水分摂取や味見程度の飲食でも、検査ができませんのでご注意ください。
- ②定期薬を服用中の方は、朝の内服の可否を事前に主治医にご相談ください。
基本的には、朝食後の血圧のお薬・心臓病のお薬を服用している方は、検査を受ける2時間以上前までに少量の水で服用してください。胃薬・糖尿病のお薬やインスリンの注射等は使用しないでください。
- ③入れ歯安定剤を使われている方は前日の夕食後から、安定剤の使用を控えてください。
- ④検査に影響しますので、検診当日は検査が終わるまでタバコは吸わないでください。
- ⑤当日は検診車の中で検診服を羽織ります。また、金具やボタンのついた衣服や下着は脱いでいただきますので、脱ぎ着しやすい服装でお越しください。
- ⑥安全に検査を行うため、事前に問診表(裏)を確認の上、チェックリストの記載をお願いします。
- ⑦次の方は受診をお控えいただきます。

- ・妊娠中もしくは妊娠している可能性のある方
- ・検査当日、上の血圧が180mmHg以上、または下の血圧が110mmHg以上の方
- ・飲み込みが悪く、むせやすい方

⑧次の方は受診をお控えいただくか、事前に主治医にご相談ください。

- ・現在、胃疾患で受療中の方
- ・過去1年以内に何らかの手術を受けた方
- ・胸部の手術をされ、ペースメーカー・シャントチューブ・ポート等の人工物を挿入されている方（挿入しているものが壊れてしまう可能性があります。）
- ・腎臓の機能低下などで水分制限を受けている方
- ・運動障害があり体位変換ができない方
- ・耳の聞こえの悪い方（検査技師の声が聞こえにくい方）
- ・バリウムアレルギーの方（バリウムを飲んでじんましんや息苦しさ等が出る方）
- ・インスリンポンプ・持続グルコース測定器をご使用中の方
（誤作動や故障等の安全性が不明のため、装着したままの検査はできません。受診を希望される場合は、機器の着脱を行ってよいか事前に主治医にご確認の上、受診してください。）

胃がん・肺がん検診は、検診車での検診です。乗り降りに支障のある方やお手伝いが必要な方は、事前にご相談ください。



前立腺がん検診

【検査方法】問診、血液検査（PSA検査）

次の方は受診をお控えいただくか、事前に主治医にご相談ください。

- ・現在、前立腺がん受療中の方
- ・前立腺の手術を受けた方

50歳以上の男性が対象

肝炎ウイルス検査（B型・C型）

【検査方法】問診、血液検査

肝炎ウイルス検査は、1回のみ検査で有効です。

※事前調査にて受診希望された方のうち、これまでに基山町で受診歴のある方（基山町の間人ドック・脳ドック受診者も含む）は、こちらで受診希望の取り消しをさせていただいておりますのでご了承ください。

大腸がん検診

【検査方法】問診、便を2日分採って便に血液が混じっていないかを検出する検査

- ①便は2日分採って検診当日に提出してください。（事前に提出することはできません）
※2本を別々の日に提出することはできません。1本のみでも検査は可能です。
- ②同じ便を2本に分けて採便したり、1本の容器に2日分の便を採取しないでください。
- ③容器の入っている袋の説明書をよくお読みになって、下記の「採便の例」を参考に、
受診当日にあわせて採便を行い、**受診当日に容器をご持参ください。**
※提出当日を含めて、5日前より採便できます。
- ④提出までは、必ず冷暗所で保存してください。
- ⑤生理中、胃がん検診バリウム後2日間は検査できませんので、別の日に採取してください。

【採便の例】 5月18日の受診予約の方
⇒5月14日～5月18日（受診当日）の**5日間のうち2日分**

※実際に採便する日程は、ご自分の検診日（提出日）から計算してください。

肺がん検診

【検査方法】問診、胸部エックス線撮影、必要な方は喀痰検査

【胸部エックス線撮影について】

- ①当日は検診車の中で肌着だけ着た状態で行います。
※ヒートテック、クール素材のもの、プリントや刺しゅう、ボタン、金具、プラスチック等のある衣服や下着、肩紐調整具付キャミソール、カップ付きタンクトップなどは脱いでいただきますので、脱ぎ着しやすい服装でお越しください。
また、腕時計・アクセサリ・磁気のあるものは外してください。
- ②町での胸部エックス線撮影は、直接撮影です。
※直接撮影は、間接撮影よりも被ばく量が少ないと言われています。特にじん肺（放射線、石綿、鉱山などの特殊業務に関連して発症しやすい疾患）の検出に有効と言われています。
- ③**次の方は受診をお控えいただきます。**
 - ・妊娠中もしくは妊娠している可能性がある方
- ④**次の方は受診をお控えいただくか、事前に主治医にご相談ください。**
 - ・現在、肺疾患で受療中の方
 - ・肺の手術を受けた方
 - ・胸部の手術をされ、ペースメーカー・シャントチューブ・ポート等の人工物を挿入されている方（挿入しているものが壊れてしまう可能性があります。）
 - ・インスリンポンプ、持続グルコース測定器をご使用中の方

（誤作動や故障等の安全性が不明のため、装着したままの検査はできません。受診を希望される場合は、機器の着脱を行ってよいか事前に主治医にご確認の上、受診してください。）

【喀痰検査について】

- ①喀痰検査は、**3日分の痰**を採ります。「つば」での検査はできません。
- ②喀痰検査を申し込まれた方で、**痰が出ない方は、容器を未使用のまま返却してください。**
- ③容器の入っている袋の説明書をよくお読みになって、下記の「採痰の例」を参考に、
受診予約日にあわせて採痰を行い、受診予約日に容器をご持参ください。

【採痰の例】 5月18日の受診予約の方
⇒5月9日～5月18日（受診当日）の**10日間のうち3日分**

※実際に痰をとる日程は、ご自分の検診日（提出日）から計算してください。